

岩佐信道 略歴・主な業績

略歴

1967年3月	麗澤大学外国語学部イギリス語学科 卒業
1972年3月	慶應義塾大学院社会学研究科教育学専攻修士課程修了、修士号取得
1972年4月	(財)モラロジー研究所研究部 研究生(1976年4月より同研究員)
1975年3月	慶應義塾大学院社会学研究科教育学専攻博士課程 単位修得退学
1981年4月	麗澤大学外国語学部 講師
1984年6月	米国ハーバード大学大学院教育学博士課程 単位修得
1986年4月	麗澤大学外国語学部 助教授
1989年6月	教育学博士号取得 (ハーバード大学)
1992年4月	麗澤大学外国語学部 教授
2010年4月	同特任教授

主な業績

- 「正義と慈悲に関する発達論的・比較文化的考察」、『道徳教育国際会議発表論文集』、1987年
コールバーグ著『道徳性の発達と道徳教育』(訳書)麗澤大学出版会 1987年
Situational Considerations in Moral Judgment: A Japan-United States Comparison, Unpublished
Doctoral Dissertation, Harvard University, 1989
「道徳性の発達と家庭教育」、『新児童心理学講座・道徳性と規範意識の発達』、金子書房、1991年
「育児態度と母親の意識についての日米比較」、『麗澤大学紀要』第52号、1991年
Postconventional Reasoning and Moral Education in Japan, *Journal of Moral Education*, Vol. 21,
No. 1, 1992年
「エゴイズムとエゴセントリズム—自我没却に関する一考察」、『モラロジー研究』第37号、1992年
「道徳判断の日米比較」、『麗澤大学紀要』第54号、1992年
「支えあう喜び—義務先行の原理」、『季刊モラロジー生涯学習』第129号、1994年
「家族と道徳性発達論」(英国、ランカスター大での発表の和訳)『麗澤大学紀要』第63号、1996年
Family Relations and Moral Development, *Annals of the Institute for Educational Research*, Vol.
24, No. 29, 1997年
「社会の一員としての責任の自覚と道徳教育」、『道徳と教育』第296・7号、日本道徳教育学会、1997
年
Chikuro Hiroike: Treatise on Moral Science--A First Attempt to Establish Moralogy as a New
Science (Book Review), *Journal of Moral Education*, Vol. 27, No. 3, 1998年

- 『国際化・情報化社会における心の教育』日本図書センター『心の教育実践体系第10巻』（共編者、西野真由美）、1999年
- 「アメリカにおけるキャラクター・エデュケーションの動向」、『比較教育学研究』、第26号（特集、子どもの危機と教育の対応）、2000年
- Moral Reasoning among Adults: Japan-US Comparison, Hidetada Shimizu and Robert Levine (Eds.) *Japanese Frames of Mind: Cultural Perspectives on Human Development*, Cambridge University Press, 2001年
- The network of interdependence and morality, *The International Conference on Moral Science in 2002--Searching for a Common Morality in the Global Age (Studies in Moralogy: Special Issue)*, The Institute of Moralogy, 2003年
- 「つながりの受け止め方と道德性の発達」、『日本発達心理学会第14回大会発表論文集』、2003年
- 「大学生が親に感謝の気持ちを伝える意義」、『日本教育心理学会第45回総会発表論文集』、2003年
- 「つながりの受け止め方」、『日本教育心理学会第46回総会発表論文集』、2004年
- 「道德教育に関する一考察—相互依存関係の受け止め方に焦点を当てて」、『モラロジー研究』第54号、モラロジー研究所、2004年
- 「国家社会とのつながりの自覚を育む教育」、『道德と教育』324号、日本道德教育学会、2005年
- 「個性を生かす」と「共に生きる」ということ」、日本道德教育学会第66回大会『発表要旨集録』2005年
- Kokoro no Nooto (Notebook of my mind and heart), (Curriculum Review), *Journal of Moral Education*, Vol. 35, No. 3, 2006年
- The network of interdependence as a basis for transversal values, *Cultural Diversity and transversal Values: East-West Dialogue on Spiritual and Secular Dynamics*, UNESCO, 2006年
- 「相互依存のネットワークの中で生きる人間のモラルとしての最高道德」、岩佐信道、北川治男監修、『2009年モラルサイエンス国際会議報告 廣池千九郎の思想と業績』2009年
- Benevolence, Kevin Ryan et al (Eds.) *Happiness and virtue beyond east and west: toward a new global responsibility*, Tuttle Publishing, 2011年
- 「地球システム倫理と麗澤大学における道德科学教育」、麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第9巻、2011年
- 「J. Lauwerysのcosmic modestyの考え方と廣池千九郎の宇宙自然の法則」、麗澤大学大学院言語教育研究科論集『言語と文明』第10巻、2012年
- 「モラロジーの再評価と道德教育の普及 — 廣池千九郎の業績とその今日的意義 —」、行安茂、廣川正昭編、『戦後道德教育を築いた人々と21世紀の課題』、教育出版、2012年

以上